

## 1 事業の成果

### 定款上の事業名

#### (1) 情報サイトの運営事業

「子ども情報ステーション—精神障がいをかかえた親とその子どもの応援サイト—」を運営し、1年間に、1,817,691人のユニークユーザーからサイト訪問、延約333万のページ閲覧があった。読者アンケートを実施、71件の回答があり、サイトの改良につなげた。

#### (2) 心理教育絵本、テキスト等による普及啓発事業

啓発チラシ「親が精神疾患になったときの子どもと親のケアガイド」を、約10,000枚発行し、イベントでの設置や、キッズパワーサポーターの協力による配布を行った。キッズパワーサポーター登録者数が、1,200名をこえた。新たにメルマガ会員を設立し、300名をこえた。12回の学会・イベントへのブース出展、15回のセミナー講師、オンラインストアでの販売などを通して、心理教育絵本（家族のこころの病気を子どもに伝える絵本・子どもの気持ちを知る絵本：約850冊、「ボクは話せない」：約250冊）を新たに普及した。2019年5月には、制作編集を行った『生きる冒険地図』を学苑社より刊行し、法人として約600冊を普及した。精神保健の啓発のためのポスター、動画、ウェブサイトコンテンツ等の制作、普及を行った。

#### (3) セミナー等による課題の認知拡大、社会への普及啓発事業

子どもの気持ちを表現した絵の展示と活動掲示では、延500名を超える方が来場し、法人のメッセージを届けることができた。企業とのコラボでの展覧会も開催した。計19回のセミナーや学会シンポジウム講師を担当し、精神障がいの親と子どもの支援ならびに、精神保健に関する普及啓発活動を行った。

#### (4) 目的を同じくする他団体等との情報交換や他団体と連携した協働事業

精神障がいを抱える親と子どもの支援に取り組む全国の関連団体の団体に関する情報を随時アップデートし、運営する情報サイト内で提示した。研究者との協働による教育関係者向け啓発プロジェクトをすすめた。海外の親が精神障害の子どものケアの絵本の翻訳プロジェクトに参加した。連携して精神障がいの親と子どもの支援に取り組んだ。

2 事業の実施に関する事項（平成30年10月1日～令和元年9月30日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
情報サイトの運営事業	情報サイトの運営	通年	事務所 さいたま市内	10名	精神障がい の親とその 子ども、支援 者	約180万人 511千円
心理教育絵本、テキスト等による普及啓発事業	チラシ配布による啓発	通年	事務所	3名	同上	約1万人
	学会・イベント出展での絵本販売	通年	東京、埼玉、岡山、三重等	5名	同上	約8500人
	学校保健室献本	1月	事務所→大阪	3名	養護教諭、教員、生徒、保護者	22名（養護教諭）
	精神保健啓発ツール制作	通年	事務所	5名	子ども、精神障がいの当事者、家族、支援者など	約3万人
	普及啓発イベント開催	10月5-6月	東京 東京	10名	イベント鑑賞者	約1,000人
セミナー等による課題の認知拡大、社会への普及啓発事業	セミナー講師	通年	東京、埼玉、三重、ほか	3名	セミナー参加者	約2,400人 1,383千円
他団体と連携した協働事業	情報発信 研究協力	通年	事務所ほか	2名	精神障がいの親とその子ども、支援者	約1,500名 12千円